

# 熊本市歯科医師会会誌

第 42 号



昭和57年度熊本市歯科医師会会員発表学会  
みかんと紅葉に囲まれて

1983. 1

## 目 次

|                         |    |
|-------------------------|----|
| 昭和57年度熊本市歯科医師会会員発表学会    | 2  |
| 学術講演会 隣接医学シリーズ そのⅡ 齊藤 朗 | 5  |
| みかんと紅葉に囲まれて 古賀 明        | 7  |
| 秋の歯の無料検診 分山 和男          | 9  |
| 第46回全国学校歯科保健大会 鈴木 勝志    | 11 |
| 熊本市保健医療専門団体連合会発会式 田島 宗穂 | 13 |
| 老年者の歯科治療 寺島 美史          | 14 |
| 歯磨き巡廻指導                 | 16 |
| 本日休診 出口 久男              | 18 |
| 勉強部屋 浜坂 浩               | 20 |
| 昭和57年度歯学研修セミナー 齊藤 朗     | 21 |
| 会員配置図 北部2               | 22 |
| 御案内 学術講演会               | 23 |
| 会務報告                    | 24 |
| 新入会員紹介                  | 26 |
| 編集後記                    | 28 |

## 昭和57年度

### 熊本市歯科医師会会員発表学会

昭和57年度、熊本市歯科医師会々員発表学会が、10月24日に熊本県歯科医師会館3階大ホールで開催されました。従来まで、会員発表学会は2年に1度開催されて、本年度で4回目を数えるにいたり、熊本市歯科医師会の研究熱心な先生方にとって貴重な発表の場となっております。当日は川崎正会長の挨拶の後、熊本県内の各スタンディーグループを代表した新進気鋭の9名の先生方が、日頃の臨床と興味ある研究について発表されました。発表の内訳は、矯正関係4題、補綴関係2題、歯周病関係1題、他2題でした。



午後の特別講演では、大分県歯科医師会学術委員長の横田亨先生が、「ハイドロキャストプログラムによる後処置なしデンチャー」という題で講演されました。内容は、日常難症例の総義歯にぶつかり、困っておられる先生も多いと思いますが、解決への1つの指標になるものと思われました。会員の研究発表

に対して講評として、発表テーマの多様さとレベルの高さに感心したという言葉いただきました。



このような会員発表の存在により、各スタンディーグループの活動も活発化し、その集大成の発表ということもあって今回の学会が大変な盛り上がりを見せたように思えます。ここに誌上を借りて、市の理事会の先生方、特に医療管理委員会と社保委員会の先生方、そして夜遅くまで2回もリハーサルをくり返してよりわかりやすい発表をして下さった演者の先生方に心からお礼申し上げます。

発表の内容を振り返ってみますと、

第1席の、徳永俊英先生のご発表は、日常臨床でよく遭遇する中切歯の埋伏歯をどうするか、というテーマでしたが、外科的な処置と矯正的な処置をコンビで行なうことにより効果的なことが示されました。



第2席の、片山隆昭先生のご発表は最近脚光をあびている4METAレジンと、先生ご自身の工夫された電解エッチング法の紹介があり、RKKから取材がありテレビを通じても放映されました。



第3席の、山内透先生（伊藤歯科勤務）のご発表は、矯正治療の限界を越えた下顎前突症、開咬症、交叉咬合などに対して外科的な



手術により見事に治癒した状態を示していただきました。



第4席の、中西一夫先生のご発表はカラーレスポーセレンについて、従来、メタルボンド冠の最大の泣き所の歯頸部のブラックラインに対する解決法の一つとして紹介されました。



第5席の、岩村泰行先生は長年の矯正臨床の中から先生の発明、工夫による興味ある測定器具の紹介がありました。

第6席の、牧野敬美先生は埋伏前歯の長期観察例が示され経過観察の大切さが発表されました。



第7席の、元島博信先生のご講演は人類の進化発展に伴う顎顔面の進化に対する研究という、私たち歯科医師に対し興味深い講演をしていただきました。また歴代徳川家の顔貌の変化などは非常におもしろく、また使用しない顎骨の劣成長など現代人にもあてはまる有意義な講演でした。



第8席の、緒方孝則先生のご講演は最近ブームになっているマイコンの利用法についてでありまして興味あるお話しでした。先生は歯科材料の管理にコンピューターを使用され成功されているということです。将来このようなコンピューターの利用範囲が歯科診療所内でもどんどん広がってくると思われます。

第9席の、浜坂浩先生のご講演はPMSテクニックについてで、米国のパンキー、マン、スカイラーという3人の学者が完成したこの咬合理論を浜坂先生が日常臨床にどのように組み込んでおられるのか理解できました。



以上9名の先生方の発表、大変ありがとうございました。

出席されました諸先生方には明日の診療に何らかのヒントが得られたらと思います。

次回の会員発表学会にもよろしく御協力の程御願います。

学術委員会

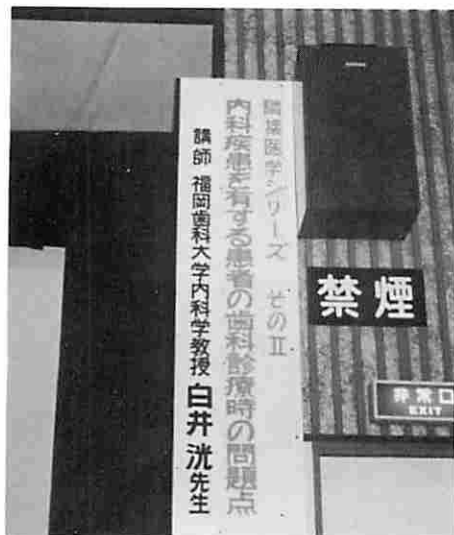
## 57年度第3回学術講演会

### 隣接医学シリーズ そのII

#### 内科疾患を有する患者の歯科診療時の問題点 ～医療事故発生防止のために～

講師 福岡歯科大学内科学教授

白井 渉<sup>たけし</sup> 先生



1 1月26日7時より熊本市学術講演会が県歯科医師会館で開催されました。当日は歯科医師、アシスタント合わせて140名以上の出席者のもと盛況に行われました。今回の講演会は隣接医学そのIIとして、福岡歯科大学内科学教授の白井渉先生に「内科疾患を有する患者の歯科治療時の問題点」という題で講演していただきました。私たち歯科医師が現代の高齢化社会における歯科治療で、最とも警戒しなければならない医療事故の発生

を防止するために特に注意を要する内科的疾患（例えば、心疾患、腎疾患、肝疾患等）について詳しく講演していただきました。今回の講演の要旨は次のとおりです。

#### I 心疾患（含高血圧）について

1) 心疾患を有する患者を治療する前に次のような問診を行うべきである。

- a) 医師にかかったことがあるか？
- b) リウマチ、心筋硬塞、高血圧等その他の心疾患の既往は？
- c) 胸部不快感、いきざれ、浮腫、心悸亢進等の症状は？
- d) 薬を服用しているか？
- e) 今迄歯科治療で全身的な不快なことがあったか？

2) 心疾患を有する患者の歯科治療時の注意点。

- a) 心疾患の程度を充分知り、出来るだけ複数の抜歯をさけ、更に麻酔は局所麻酔で（アドレナリン等少い）行うべ

きである。

- b) リウマチ性疾患や弁膜疾患では、亜急性心内膜炎の予防に十分注意を行い抗生物質の投与を行う。
- c) 狭心症の患者その他では情緒的ストレスを軽減させるための注意が望ましい。又必要により精神安定剤を2日前より投与する。更に狭心症の既往のある患者にはニトロール又は亜硝酸アミールを保持していることをたしかめる。
- d) まれに狭心症の発作が顎や歯の痛みとして訪れることがある。



## Ⅱ 腎疾患について

- 1) 一般に使用されている抗生物質は腎から排泄されるものが多いので、腎障害があると腎から排泄されず中毒症状が出現する。
- 2) 透析を行っている患者はヘパリン（血液凝固阻止剤）を使用しているので充分注意すべきである。

## Ⅲ 糖尿病について

- 1) 糖尿病患者は感染しやすく、小さな処置でも糖尿病が悪化することがある。
- 2) 心疾患、高血圧、腎疾患、神経疾患等

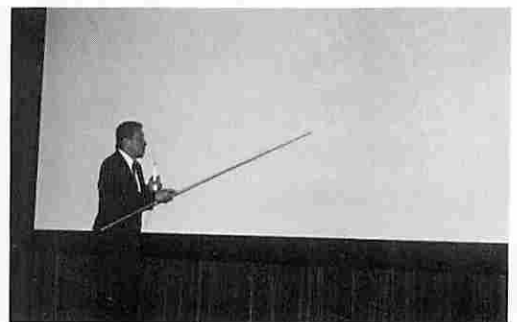


が合併していることが非常に多いので、これらの疾患がある高齢者では糖尿病が原因である可能性を考慮する。

## Ⅳ 肝疾患について

- 1) 肝炎患者（特にHB抗原保持者）では歯科医師自身が感染する機会が多いので充分予防を行うべきである。
- 2) 肝硬変症患者ではビタミンK不足により出血傾向がある。
- 3) 歯科臨床で使用する抗炎症剤、鎮痛剤抗生物質等で中毒性肝炎がおこることがある。
- 4) 肝硬変症の患者は非常に赤い唇及び舌をしているので赤い唇及び舌を診たら注意すべきである。

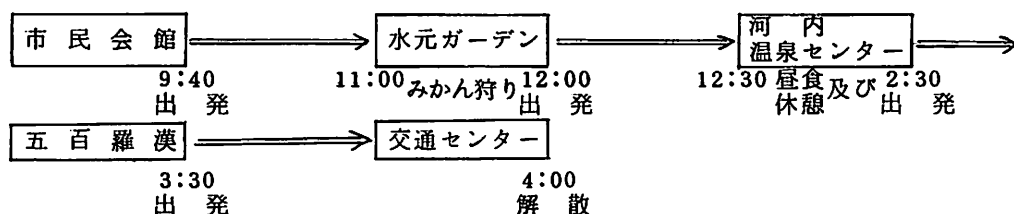
市学術委員 斉藤 朗



# “みかんと紅葉に囲まれて、”

## — 熊本市親睦旅行 —

熊本市歯科医師会では、秋の親睦旅行として、さる11月23日勤労感謝の日に、会員、家族及び、従業員の参加による、飽託郡河内町への、ミカン狩りバス旅行が行なわれました。



前日来の雨模様の為、参加人数が心配されましたが、当日は天気も嘘のように晴れ、川崎会長、園田副会長も出席され、会員23名を含む総勢130名余りの大所帯となり、各病院単位で、2台のバスに分乗し、超満員の中、熊熊市民会館を10時前に出発しました。

雲仙岳を望む有明海岸沿いを、バスガイドの軽快なおしゃべりと歌を聞きながら、アツという間に、河内町のみかん園“水元ガーデン”に到着しました。

祭日の為とあって、他のみかん狩りを楽しむ家族連れで賑い、みかん園では、何段ものみかん畑の中へ、各人ハサミと袋を持って消えていきました。さっそくもぎ取った新鮮なみかんを味見したり、子供を肩車したり、木に登ったり、思い思いに緑の枝にたわわに実ったみかん狩りを楽しみました。

約1時間程、新鮮な空気と緑の中で、秋の

味覚を十分満喫し、袋には一杯のみかんを重たそうに持って、再びバスに乗り込み、河内温泉センターへと向かいました。

温泉センターの大広間に於いて、昼食となり、全員一緒に、あったかい貝の吸い物、その他海の幸、山の幸に舌鼓を打ち、冷えた体を温め直しました。食後は各人様々に、温泉につかって体を休めたり、ほろ酔い加減にて世間話をしたり、子供達は外の遊び場で、元気にかけ回ったり、堤防で釣りを見学したり、又、みかん園からおみやげにもらったみかんを、食後のデザートとし食べたりして、約2時間程、ゆったりとくつろぎました。

午後3時前に温泉センターを後にして、次の目的地である、剣聖宮本武蔵が晩年を過ごしたと言われる、五百羅漢、岩戸観音見学へと向いました。色彩りどりの紅葉路の中を、バスに揺られて行くと、まもなく閑静なたた

ずまいの、五百羅漢に到着します。

山の斜面に整然と並べられた数百の地藏、みかん狩りの観光客が多らしく、あちこちにみかんが供えられたり、草花が供えられたりしてありました。この五百羅漢より急な石段を登りつめると、晩年の宮本武蔵が修業した洞穴、岩戸観音に出ます。スケッチブック持参で、スケッチされる熱心な先生もおられ、ほんの束の間だけでも、身も心も清められた気分になりながら、紅葉路を後にして、一路熊本市に向けて出発しました。午後4時全員無事交通センターに帰着し、解散となりました。

た。

晩秋の1日を、豊かな自然に囲まれて、日頃家庭サービスに遠ざかっておられる先生方にとっては、絶好の機会ではなかったでしょうか。とりわけ子供さん達にとっては、楽しい休日となったようでした。なお、昭和58年の熊本市新年会を2日5日、ニュースカイホテルに於いて行なう事になっております。みかん狩りに負けず劣らず、多数の会員の皆様方が御夫人同伴の上で、御出席されるようお願い致します。

(厚生 古賀明記)



# 57年度 秋の歯の無料検診

口腔衛生委員 分 山 和 男

去る11月7日(日曜)午前10時より午後4時迄鶴屋の6F特設会場に於て、恒例の歯科無料検診を開催しましたので報告します。

主催は市歯科医師会、担当は口腔衛生委員会、鶴屋の会場提供、及び県衛生土会の皆さんの御協力を得て、実施しました。

検診内容としては

- 1.無料検診
- 2.歯の健康相談
- 3.刷掃指導
- 4.パネル展示、パンフレット配布

以上で、特に刷掃指導に力を入れた。

検診者数は65名で、折りからの雨模様のせいか、少々例年に比して出足が悪かったようである。

結果は別表の通りであるが、子供連れのお母さん方の検診が主で、成人男子の検診者が極めて少なかった。

歯の健康相談の内容としては、小児では不正咬合の相談が最も多く、成人の場合は、最近新聞雑誌やテレビで痛くない歯の治療法、できるだけ歯を抜かない削らない治療法が紹介されて話題になったせいか、一般の人々の新しい歯科治療に対する関心が強く、接着性レジンによる欠損補綴等についての相談が寄せられた事が、例年と異ったようである。



## 検診結果

### 1) 被検診者数(名)

|       | 男性  | 女性  | 合計  |
|-------|-----|-----|-----|
| 乳 歯 列 | 1 6 | 1 6 | 3 2 |
| 混合歯列  | 6   | 6   | 1 2 |
| 永久歯列  | 2   | 1 9 | 2 1 |
| 総 数   | 2 4 | 4 1 | 6 5 |

2) むし歯の処置状況別にみた有病者率(%)

|       |   | 虫歯のない者 | 処置完了者 | 未処置者 | 併有者  |
|-------|---|--------|-------|------|------|
| 乳 歯 列 | 男 | 13.8   |       | 7.7  | 3.1  |
|       | 女 | 13.8   | 1.5   | 4.6  | 4.6  |
|       | 計 | 27.6   | 1.5   | 12.3 | 7.7  |
| 混合歯列  | 男 |        |       | 1.5  | 7.7  |
|       | 女 |        |       |      | 9.2  |
|       | 計 |        |       | 1.5  | 16.9 |
| 永久歯列  | 男 |        |       | 3.1  |      |
|       | 女 |        | 9.2   |      | 20.0 |
|       | 計 |        | 9.2   | 3.1  | 20.0 |



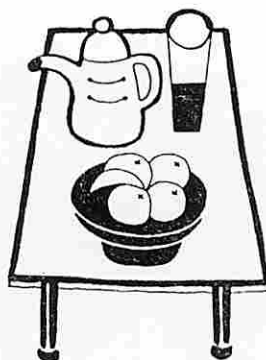
スタッフ(口腔衛生委員会)

田島宗穂 岡田知久 青木道育 岡本寛  
村上辰郎 弥永康博 矢毛石豊 分山和男  
歯科衛生士会 福本厚子副会長他8名

尚、今回の検診にあたり、関係者の方々の御協力に感謝します。

3) 検診者の口腔内衛生状態(%)

|       | 清掃状況 |      | 歯石   |      | 歯肉炎  |      | 不正咬合 |     |
|-------|------|------|------|------|------|------|------|-----|
|       | 良    | 悪    | 無    | 有    | 無    | 有    | 無    | 有   |
| 乳 歯 列 | 34.5 | 15.5 | 46.7 | 1.7  | 53.2 | 0    | 41.9 | 9.7 |
| 混合歯列  | 5.2  | 15.5 | 18.3 | 1.7  | 16.1 | 3.2  | 14.5 | 4.8 |
| 永久歯列  | 15.5 | 13.8 | 8.3  | 23.3 | 12.9 | 14.5 | 21.0 | 8.1 |



# 第46回全国学校歯科保健大会

昭和57年10月15日(金)・16日(土)

学校歯科担当理事 鈴木勝志

昭和57年10月15日(金)・16日(土)

## 1. 趣旨

人間生活の根幹である歯の健康づくりを通して、心身ともに健康でたくましい幼児・児童・生徒の育成に寄与することは、学校歯科保健の重要な課題である。本研究大会は、日本学校歯科医会創立50周年を記念し、歯科保健の原点をふまえ、保健指導と保健管理の調和を図りながら、学校歯科保健の諸問題について研究協議を行い、地域と学校で実践するよりよい歯科保健活動の充実を図り、歯の健康づくりを推進する。

## 2. 主題

保健指導と保健管理の調和

—— 地域と学校で実践するよりよい歯科保健活動 ——

以上の趣旨・主題で愛媛県は松山市にて2日間に渡って開催された。本市歯科医師会からは私鈴木と学校歯科委員松本一之先生と2

名で参加した。この度の大会は日本学校歯科医会50周年を記念するものであったので前記の趣旨・主題で地域と学校とが連携した歯科保健活動の在り方を深める為の盛りだくさんの企画がなされていました。研究協議は学校に視点をのこした第1領域と地域に視点をのこした第2領域を設定してありましたが、どれも歯科保健活動の実態を提示して討議が行われ種々の学校歯科としての場に於て考えさせられる事が多く有意義な大会であったと思います。



以下研究協議の内容をお知らせしておきます。その他個々の協議会の資料は私共学校歯科委員会に保存してありますので御利用いただけたら幸いです。

〔第1領域〕主題・学級指導を通しての歯の健康づくり

○ 幼児・児童・生徒の心身の発達段階や歯の



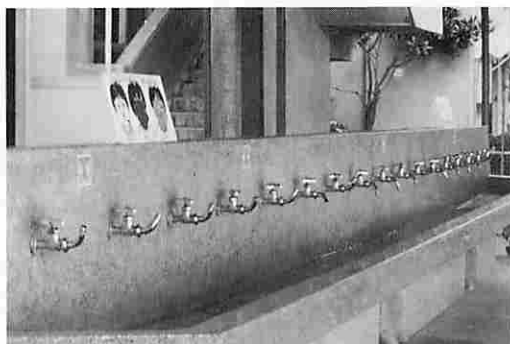
健康状態に即した年間指導計画について

- 入学（園）から卒業（園）までを見通した  
歯の健康づくりを進める指導内容について
- 歯の健康づくりの効果を高める指導の在り  
方について
- 児童・生徒活動、学校行事、日常指導にお  
ける歯科健康活動との関連について
- 歯の健康生活習慣を育成する家庭との連携  
について

〔第2領域〕主題、地域ぐるみで進める学校  
歯科保健活動

- 積極的な学校歯科保健活動を進める学校、  
家庭、地域の組織活動と協力体制について
- 歯科保健活動における学校歯科医の役割と  
活動の在り方について
- 幼児・児童・生徒の歯の健康づくりを推進  
する家庭の役割と活動について
- 地域ぐるみで進める学校歯科保健活動に対  
する行政の取り組み方について

その他全国学校の表賞が行われたが本年は  
奥村賞にあたいする学校はなかった。本市で



は過去に於て、学校表賞のノーベル賞とも言  
われている奥村賞を城東小が受けている。こ  
のことも学校歯科医の努力と学校と地域の協  
力のたまものなのであります。毎年全国学校  
歯科保健研究大会が行われますが学校歯科医  
の先生方には特に御出席いただくことが出来  
るようになる様になるならばよりこの大会が  
有意義なものになると思います。私共学校歯  
科委員会では学校歯科医の先生方ともっと接  
触をとって小児、児童、学生に対して歯科保  
健活動の研究をかさねてゆかなければいけな  
いと思います。

## 御案内

### 「性教育研究協議会」開催について

主 催 熊本市教育委員会

〃 学校保健会

場 所 市役所14F 大ホール

日 時 2月15日(火) PM2:00～4:30

性に関する諸問題の多い中、特に学童・中・高生の性教育問題点の協議会が行われま  
す。

学校歯科医の先生方、PTAの多数の御出席の御案内を申し上げます。仔細は市歯科  
医師会事務局に問合せ下さい。

# 熊本市保健医療専門団体連合会 発会式について

口腔衛生担当理事 田 島 宗 穂

去る11月16日熊本城内五峯閣に於て熊本市保健医療専門団体連合会の発会式が行なわれました。此の団体は(1)熊本市医師会(2)熊本市歯科医師会(3)熊本市薬剤師会(4)熊本県助産婦会(5)日本看護協会熊本県支部保健婦会(6)日本看護協会熊本県支部助産婦会(7)日本看護協会熊本県支部看護婦会(8)熊本県栄養士会(9)熊本県放射線技師会(10)熊本県臨床衛生検査技師会(11)熊本県歯科衛生士会(12)日本理学療法士協会熊本県士会(3)熊本県作業療法士会以上13団体の参加に依り行なわれました。

この連合会は熊本県医師会の呼びかけにより今年4月より懇談会形式で各団体の発展を

図り相互の連携を深め熊本市圏の地域医療の水準の向上と充実を図り地域住民の健康と福祉を増進することを目的として熊本市歯科医師会も積極的に各団体との調整役として活動して参りました。

ここに発会式を迎え熊本市歯科医師会の川崎会長以下役員と口腔衛生委員会18名が出席し、他団体との交流をはかり盛大に挙行されました。

今後は会員の皆様方の御協力を得て此の連合会が地域住民のプライマリーケア及び口腔衛生思想の普及に務めたいと願望する次第です。



# 老年者の歯科治療

## 老年歯科の現状と歯科治療について

(昭和57年度・社会保険指導者研修会テキストより)

### ○ 老年人口増

厚生省の統計によれば、昭和54年のわが国における65歳以上の人口は、1,063万人で総人口の9.1%を占めているという。そして昭和75年には1,900万人となり総人口の14.3%までに増加し、昭和85年には15.5%に達すると推計されている。これは欧米諸国と比較すると、東ドイツ、スウェーデン、西ドイツ、英国に比べてかなり低くその比率には昭和75年以後となる。しかし西欧諸国では65歳以上の人が総人口に占める割合が7%から14%へ増加するのに100年前後もかかっているが、わが国ではわずかに30年で到達すると推定されている。この様な急激な老年人口の増加は、当然のことながら老年者が歯科を受診する機会が多くなることを示している。その中には高血圧、糖尿病、脳血管障害、心疾患などの種々な全身疾患を併発している老年者も受診してくる。医療の進歩により昔は入院治療していた疾患も現在では外来通院でも治療できるようになってきたため、治療を続けながら受診する人も少なくない。

### ○ 歯科医療の対象となる老年者の分類

われわれの歯科医療の対象となる老年者について分類すると次のようになる。

#### (1) いわゆる健康な老年者

##### a 健康な人

##### b 潜在的な全身疾患を秘めている人

#### (2) 医療を現在受けている老年者

##### a 医科に通院治療中の人

##### b 病院に入院治療している人

#### (3) ねたきりの老年者

##### a 在宅にて家族等に看護されている人

##### b 特別養護老人ホーム（ナーシングホーム）に入居している人

現在、一般歯科診療所で問題となる老年者は、(1)のbと(2)のaに分類される人であり、また社会的に問題となっている老年者は(2)のbと(3)に分類される人である。いずれにしても、複数の疾病を持っている人および潜在的な全身疾患を秘めている人達である。

### ○ 老年者の70%は何らかの疾病をもっている。

この点に関して村地（1966年）は、自覚的には重大な疾病を持たず、支障なく日常生活を送っている60歳以上の老年者431名（内378名は自宅居住者、53名は軽費老人ホーム在住者）を対象とし、精密検査を実施し、疾病ないしは病的な異常が発見された者と、異常が認められなかった健常者との2群に分けて検討している。その結果健康と判断されたのは、被検老年者中のわずか3割内外にすぎなかった。こうした異常は本人が自覚しない場合でも、種々な面で老年期の身体機能に影響を及ぼしていると考えられる。ここで

重要なことは、自覚的に重大な疾病をもたず、日常なんら支障のない生活を送っていて、一般家庭においてもいわゆる健康である老年者が、われわれ歯科医院に通院して来るケースでもある。日常診療における簡便な術中管理の一つの指標としてPRP (Pressure, Rate Product) がある。これは心臓負荷

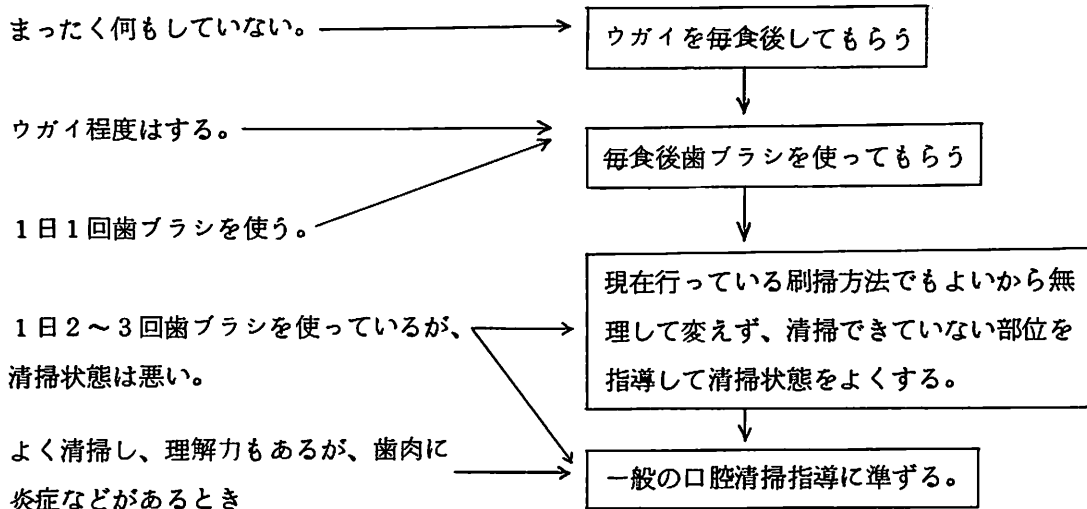
の指標である心筋酸素消費量ときわめて相関が高いといわれ、最高血圧と脈拍数とを掛けあわせた数字である。術前に測定したPRPを基準として、麻酔時や術中にこの値が30%を越えないように注意をし、もし超えたならば、しばらく処置を中断して経過を観察し、術前の測定置付近に回復すれば再び処置を行う。

#### ○老年者の口腔清掃

患者の清掃状態にあわせた指導目標と方法。

##### 〈現在の清掃状態〉

##### 〈指導目標、方法〉



- a 老年者は時間をかけ、忍耐強く指導すると効果があがる。
- b 多少の肉体的障害は絶対的なものとなり得ない。
- c 精神的要素が決め手となる。
- d 不必要に指導の目標を高くおくことは望ましくない。
- e 刷牙法は、単純な動作のものがよい。
- f 本人のみでなく、周囲の人間の理解と協力が必要である。

#### ○老年歯科の問題とその対策

- a 大学に老人歯科学の講座を開く。
- b 老人歯科専門医の養成が必要。
- c 卒後の教育、全身管理（術中管理）を重点におく。
- d 一般医を含めた老人医療体制を作る。
- e 公的歯科医療機関の充実
- f 老人歯科医療センターの設置
- g 医療事故対策
- h 公衆衛生活動

# 歯磨き巡回指導

昭和57年10月12日～15日迄4日間  
熊本市内9校の小学校と2園の幼稚園にて行  
った。

福岡ライオン歯磨より辻本衛生士と他一名  
都合2名の衛生士を呼んで幼児から高学年生  
を対称に歯磨き指導を行った。

この巡回指導は過去10数年来熊本市歯科  
医師会との共催で行って来ているもので学校  
歯科という場に於て少しずつではあるがその  
効果が上がっている事業の一つである。

年々増え続けて来たムシ歯に対しても、やは  
りそれを減少させる為には口腔内清掃という  
基本的動作を行ってゆくことに変わりはないと  
考え、これからもより多くの児童・小児・学生  
を対称に指導を行ってゆく事が大切な事であ  
ろうと考えます。学校、幼稚園側ではいづれ  
も数年おきでも良いから続けてほしいとの要  
望も出ており、その責任に於て重要さを感じた  
次第です。各園、小学校の学校歯科医の先生



方にはその都度御世話に成り又その御協力に  
対して感謝しています。今後とも宜しくお願  
いいたします。

昭和57年度歯磨き巡回指導日定と場所

| 期日     | 学校名 | 時 間             |
|--------|-----|-----------------|
| 10. 12 | 向山幼 | 10. 30 ～ 11. 30 |
| " "    | 壺川小 | 2. 00 ～ 3. 00   |
| " 13   | 古町幼 | 9. 00 ～ 10. 00  |
| " "    | 碩台小 | 10. 30 ～ 11. 30 |
| " "    | 月出小 | 2. 00 ～ 3. 00   |
| " 14   | 白川小 | 9. 00 ～ 10. 00  |
| " "    | 城東小 | 10. 30 ～ 11. 30 |
| " "    | 黒髪小 | 2. 00 ～ 3. 00   |
| " 15   | 慶徳小 | 9. 00 ～ 10. 00  |
| " "    | 一新小 | 10. 30 ～ 11. 30 |
| " "    | 向山小 | 2. 00 ～ 3. 00   |





以上各園、小学校について巡回指導を行ったことを御報告いたします。

学校歯科委員会

## 昭和58年度熊本市歯科医師会新春懇親パーティーのご案内

### 御同伴で新春のパーティーへ

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

さて、先日お知らせ致しましたように昭和58年度熊本市歯科医師会新春懇親パーティーを下記の要領で開催致します。御多忙中とは存じますが、先生方万障お繰り合せのうえ、御同伴者共々多数のご出席をお願い申し上げます。

#### 記

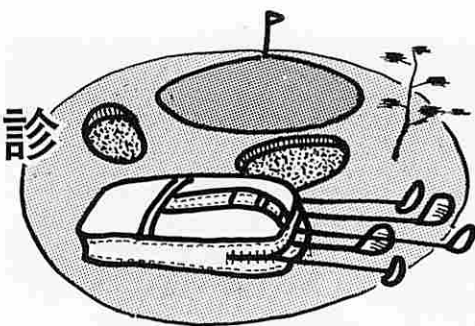
日 時 昭和58年2月5日(土) 午後6時

場 所 ニュースカイホテル玉樹の間

会 費 同伴者の方のみお1人様3,000円

(当日会場にて徴収致します。)

## 本日休診



## 尺八について

都山流大師範 出口典山

正月になると必ずテレビ・ラジオから流れ、又最近ではホテルのロビーでも聞えて来る「春の海」の長閑な調べは、広く私達の耳に馴染み深いものになっていますが、その中で箏と合奏しているのが、尺八又はフルートです。気を付けて聞かないと一寸解り難いけれども、じっくり聞いていると、西洋楽器であるフルートの軽快な金管音（本来は木管楽器だそうです）と、柔かく抑揚のある尺八の音

色が聞き分けられると思います。

では簡単に尺八について紹介してみましょう。

尺八の歴史は古く、中央アジアの<sup>あし</sup>蘘菔が印度に渡り、仏教と共に中国に入り、雅楽や仏教の楽器として用いられ、日本へは奈良朝時代に仏教の伝来と共に渡って来たのが初めてであります。

鎌倉時代中期に、覚心という僧侶が中国の宋から帰国して<sup>ふけしゅう</sup>普化宗を開き、その<sup>ほつき</sup>法器として、尺八を吹いて全国を行脚し演奏技術を伝えたのが、現在の尺八に最も良く似た普化尺八であったそうです。

後に江戸時代の始め頃から普化宗の僧が虚無僧と名乗る様になり、徳川幕府の特別の保護下にあって、虚無僧以外の者には尺八を吹奏する事が許されなかったそうです。

それが、明治四年に普化宗が廃止されて、一般に誰でも吹ける様になり、今日に至って居ります。

流派には、<sup>とざん</sup>都山流、<sup>きんこ</sup>琴古流、<sup>めいあん</sup>明暗流、上田流、竹保流等があり、現在では都山流、琴古





流がその大半を占めている様です。

尺八の材質は真竹で、長さには色々ありますが、標準のものは一尺八寸管です。節は七節で、五つの孔があります。現在では、竹林の減少により、太さ、厚み等種々の条件の揃った竹が得難くなり、木管、プラスチック管や合竹管等も作られる様になりました。

吹奏楽器の中で、尺八はたった五孔だけで音楽を演奏しようという、原始的とも言える楽器であります。しかし、人の顔がそれぞれ異なる様に、各人各様の音色が作られ、又、表現が自由自在で、心の奥底にある感情を唱う、深い響きを持った、如何にも人間的な楽器と言えるかもしれません。

尺八の響きに魅せられて此の道に入ってから二十年になりますが、未だ尺八楽の僅かー

部を学んだに過ぎず、道の奥深さに改めて驚かされている此頃です。

演奏に際しては、天候や環境、健康状態等種々な条件に依って結果が左右され易く、納得のいく演奏は仲々出来ません。

充分の稽古を積まなくては、舞台での落ち着いた演奏は出来ず、自分の吹く音も聞えない様な結果になり兼ねないのです。しかし、吹奏している間は無我の状態で、神経を尖らせて仕事をしている私共の職業にとっては、適当なストレス解消法かも知れません。

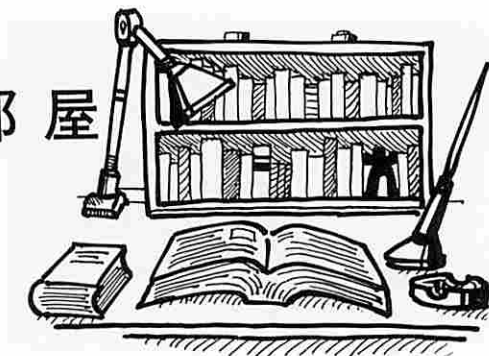
忙しい毎日の診療の後の稽古には、苦痛も伴いますが、又半面楽しみでもあり、私にとっては、出来る丈続けて行き度い唯一の趣味となっています。



## 勉強部屋

### 咬合面形態について

上顎と下顎ではどちらを先に作るべきか？



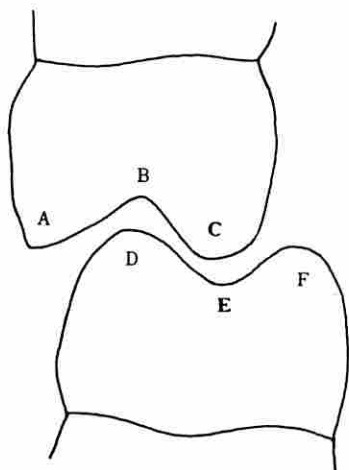
浜坂 浩

A) 一番よいのは、はじめに下顎の補綴を行い、ついで下顎に着手する方法である。この方法で行えばAからCへの作業機能を含む咬合関係をコントロールすることができる。下顎の舌側咬頭の頬側斜面(E~F)はすでに確立されているが、この部はA~C部に比べて咀嚼機能における意味は少ない。この方法によると平衡側の接触(B~CとD~E)はある程度コントロールできる。下顎のワックスアップ時に、下顎の中央溝を余り深く形成しすぎると、上顎の舌側咬頭のセントリックストップを犠牲にすることになる。

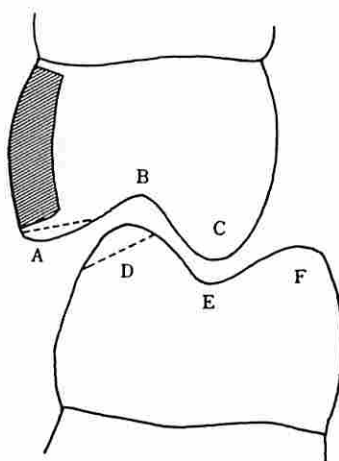
B) もし最初に上顎の加工歯を製作して、機能的にも良好な咬合を確立しようとするならば、上顎頬側咬合の舌側斜面(A)を削らなければならないだろう。この削合によって硬質レジン前装冠の咬合面保護が危うくなる。またメタルボンドの場合はオペークが露出するかもしれない。もし下顎頬側咬頭の頬面を小さくして、作業側の干渉を取り除こうとすれば、この咬合のセントリックストップが失われやすい。この咬合のセントリックストップは中心咬合位においてもっとも重要である。

(Occlusion, Ramfjord, Ash 共著より引用)

A.



B.



# 昭和57年度歯学研修セミナー (福岡県) 開催さる

昭和57年度歯学研修セミナー(福岡県)が、去る12月11日、12日の両日にわたって、福岡市の西日本相互銀行本店で開催されました。両日とも小雨まじりの天気にもかかわらず、多数の先生方の出席のもと盛況に開催されました。今回のセミナーは、「現代歯科材料の流れと現状を考える」がメインテーマで、歯科理工学の立場から東京医科歯科大学の増原英一教授、歯科補綴学の立場から東京歯科大学の羽賀通夫教授、歯科保存学の立場から大阪歯科大学の戸田忠夫教授が講演され、歯科医療管理学の立場より、兵庫県開業の村井俊郎先生が「これからの歯科医療をどう考えるか」というテーマで講演されました。当日の講演要旨は次の通りです。

1. 歯科理工学…最近における歯科材料の  
2～3のトピックス  
特に4-META接着性レジンについて
2. 歯科補綴学…クラウン・ブリッジによる前歯部補綴

- 1) 前歯部ブリッジの設計と咬合
- 2) 支台装置
- 3) ポンティック
- 4) 前装法
3. 歯科保存学…各種根管充填の特徴と術式
  - 1) 根管充填の目的について
  - 2) 根管充填材(剤)の分類と特徴
    - i) 固形根管充填材
    - ii) 糊剤根管充填材
    - iii) セメント状のもの
  - (3) 根管充填の前準備
    - i) 根管形成の術式
    - ii) 根管の清掃
    - iii) 根管充填の時期
  - 4) 固形根管充填法
  - 5) 糊剤根管充填法
4. 歯科医療管理学…これからの歯科医療をどう考えるか。

市学術委員 斉藤朗

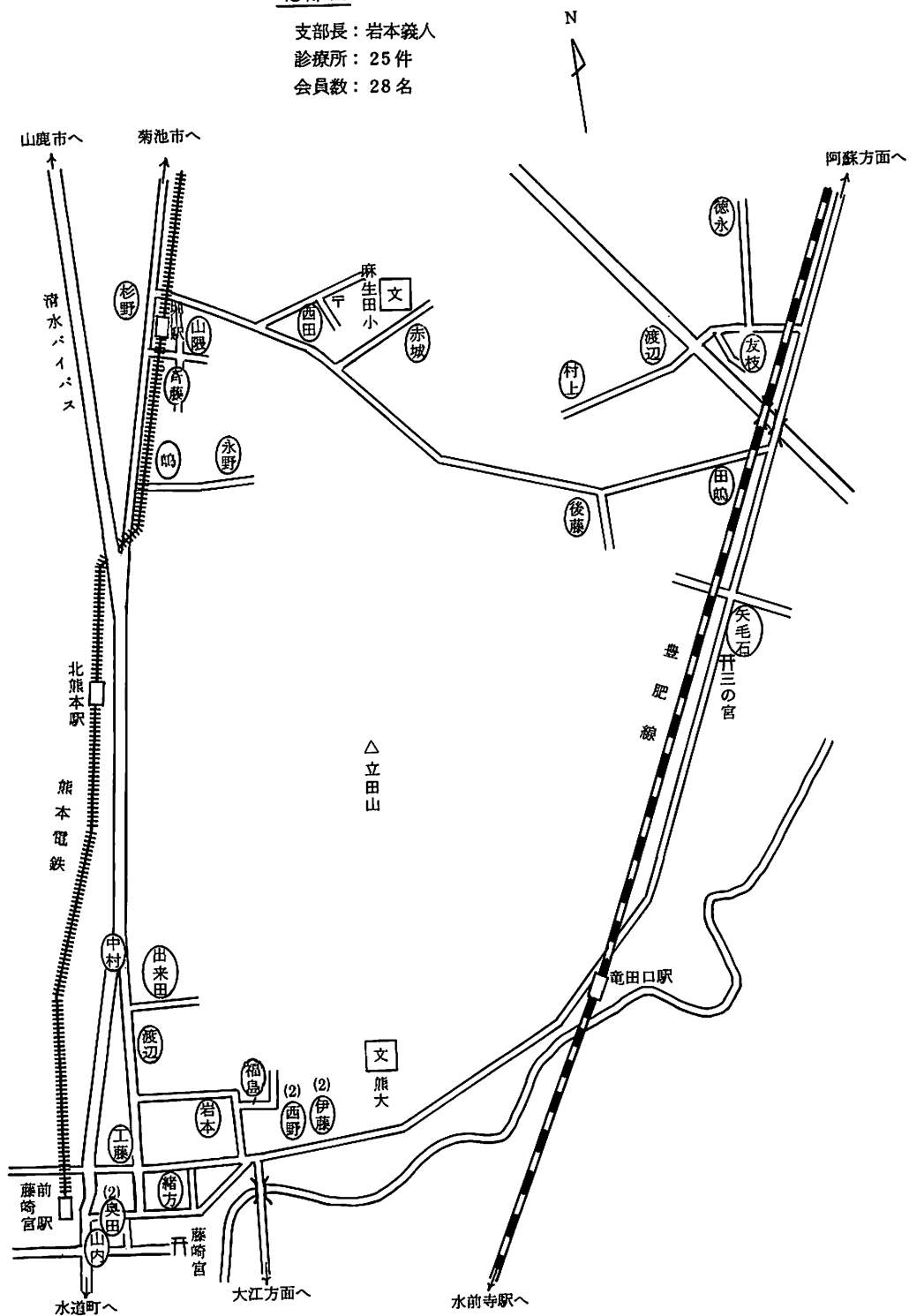
# 会 員 配 置 図

## 北部2

支部長：岩本義人

診療所：25件

会員数：28名



# 御 案 内

## 学術講演会、隣接医学シリーズそのⅢ 歯科医師のための救急蘇生法

講 師 岡増一郎先生（九州大学歯学部口腔外科学教授）

と き 58年2月20日（日） 10：00～15：30

ところ 熊本県歯科医師会館 3階大ホール

※ なお、当日は、同会館内で、衛生士会主催の「アシスタントのための救急蘇生法」の講演と実習も予定されています。同企画は熊本市歯科医師会との共催となっておりますので衛生士会に所属していない衛生士、助手の方も参加できますのでご出席下さい。

## 学術講演会のお知らせ

東京歯科大学同窓会熊本県支部では母校の溝上教授をお招きして日常総義歯の臨床で悩まされる印象採得の問題点を講演していただくことになりました。

内容のある話がうかがえるものと思われますので同窓の先生方丈でなくどなたでも結構ですので是非ご参集されます様お誘いいたします。

記

## 演題 「無歯顎の印象採得にどうとりくむか」

講師 溝上隆男教授 東京歯科大学第一補綴学講座

日時 昭和58年2月5日（土） 午後2時より

場所 ニュースカイホテル 6階翠松の間

会費 無料

主催 東京歯科大学同窓会熊本県支部

支部長 松本謙一

# 会 務 報 告      9 / 22 ~ 11 / 24

| 月  | 日  | 行 事                                               |
|----|----|---------------------------------------------------|
| 9  | 27 | 広報委員会<br>医療管理委員会（県 1 F）                           |
| 10 | 1  | 医療管理委員会                                           |
|    | 7  | 口腔衛生委員会                                           |
|    | 8  | 広報委員会                                             |
|    | 12 | 学校歯科委員会（平和園）<br>社保委員会                             |
|    | 13 | 医療管理委員会                                           |
|    | 14 | 学術委員会                                             |
|    | 18 | 学術委員会（リハーサル）                                      |
|    | 21 | 厚生委員会                                             |
|    | 22 | 学術委員会（リハーサル）                                      |
|    | 24 | 学 会                                               |
|    | 30 | 理 事 会（天草）                                         |
| 11 | 1  | 社保委員会                                             |
|    | 7  | 無料検診（鶴屋 6 F）                                      |
|    | 10 | 厚生委員会                                             |
|    | 11 | 口腔衛生委員会                                           |
|    | 15 | 学術委員会                                             |
|    | 16 | 資格審議会                                             |
|    | 18 | 医療管理委員会                                           |
|    | 19 | 厚生委員会<br>佐藤正平先生御逝去 通夜 7:00 ~ 場所<br>葬儀 2:00 ~ 大慈禅寺 |
|    | 23 | レクレーション（みかん狩り）天水町                                 |
|    | 24 | 理 事 会                                             |

# 会 務 報 告 11/25～1/18

| 月  | 日  | 行 事                                                                          |
|----|----|------------------------------------------------------------------------------|
| 12 | 3  | 広報委員会                                                                        |
|    | 4  | 学校歯科・口腔衛生合同委員会                                                               |
|    | 8  | 牧野有道先生御母堂様ご逝去 <small>通夜8日<br/>葬儀9日PM2:00～</small> <small>場所<br/>島田斎場</small> |
|    | 11 | 学術委員会                                                                        |
|    | 13 | 医療管理委員会<br>厚生委員会（県1F）<br>社保委員会（県2F）                                          |
|    | 14 | 資格審議会                                                                        |
|    | 16 | 理 事 会                                                                        |
|    | 17 | 医療管理委員会<br>広報委員会                                                             |
| 1  | 11 | 医療管理委員会<br>東部1支部会（火の国）                                                       |
|    | 13 | 口腔衛生委員会<br>学術委員会（8:00よりかわぎく）                                                 |
|    | 14 | 広報委員会                                                                        |
|    | 17 | 厚生委員会                                                                        |
|    | 18 | 理 事 会                                                                        |

## 新入会員紹介



氏 名 緒 方 弘 和 昭和26年9月8日

自 宅 熊本市中央街1-9 (TEL)54-8012

診療所 熊本市竜田町弓削字上窪峠1676-1 (TEL)38-5959

趣 味 釣り

好きなことば

「千里の道も一歩から」

経 歴

昭和45年 熊本高等学校卒業

52年 九州大学歯学部卒業 後 同大学 口腔外科教室勤務

55年 菊陽中央病院歯科勤務後、現在地に昨年(57年)12月より開業

家族構成(氏名、生年月日、続柄)

久美子 昭和29年1月16日生 妻

由 美 昭和54年8月1日生 長女



氏 名 尾 上 宏 昭和28年9月19日

自 宅 飽託郡飽田町八分字3420 (TEL)09622-7-0793

診療所 " 3117 (TEL) " -7-2534

趣 味 ゴルフ、ドライブ

好きなことば

いまのところ無し

## 経 歴

昭和 5 4 年 3 月 日大松戸歯学部卒業

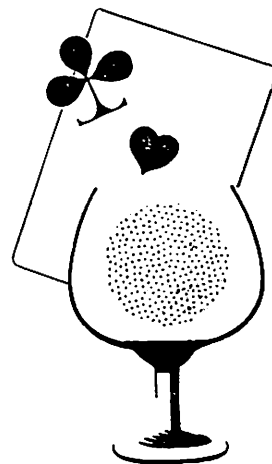
6 月 柏 中央歯科医院勤務

5 7 年10月 同院退職

## 家族構成

祐 子 昭和 2 8 年 7 月 4 日 妻

宏太朗 昭和 5 6 年 1 0 月 1 日 長男



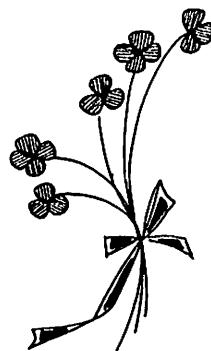
## 編集後期

会員の皆様方、新春おめでとうございます。

厳しい歯科界の状況の中で、年があげましたが、今年も早速、薬価基準の引き下げ、老人保健法の導入など行政改革のしわ寄せの第一弾が始まりました。

ストレスのたまる毎日ではありますが、どうぞ皆様方、今年一年、健康に留意し診療に励まれます様、お祈り申し上げます。

（広報委員会一同）



熊本市歯科医師会会誌

第 4 2 号

発行日 昭和58年 1月20日発行

発行所 熊本市歯科医師会

熊本市坪井2丁目3番6号

TEL(43)6669

発行責任者 川崎正士

印刷所 コロニー印刷

熊本市二本木3丁目12-37

TEL(53)1291